

## 歴代 RI 会長のプロフィール 3

### 1919-20 年 アルバート・アダムス

ジョージア州アトランタ

アルバート・アダムスはアラバマ州モバイルで生まれましたが、1890 年、18 歳のときにアトランタに引っ越しました。

彼は不動産業の指導者として、南北戦争の余波から未だ回復していない多くの市民を助きました。彼はアトランタ広告クラブ会長や不動産協会理事などの市民組織の多くの役職に就きました。また彼はボーイスカウトの委員長、商工会議所理事、ナショナル銀行理事、アトランタ・シュラインの会員として新しい寺院に対する 100 万ドル献金に協力したり、ジョージア不動産協会会長や全米不動産協会の倫理委員長を勤めました。

1913 年にアトランタ・ロータリークラブが設立されたとき、チャーター・メンバーとして入会しました。クラブに対する奉仕は終始模範的であり、それはその後の国際ロータリーに対する数年にわたる奉仕と同様でした。

国際ロータリーにおける活動は 1914 年に始まり、当初は不動産部門の職業奉仕委員長を務めました。その後、国際大会信任状委員長、国際大会 SAA を務め、1917 年に国際大会が彼の故郷アトランタで開催されたときは国際大会実行委員長を務めました。

1918-19 には国際ロータリーの第一副会長、1919-20 年には会長に選ばれました。アトランタにおける彼の地域活動は多忙を極め、広告宣伝クラブ、南東部公正委員会、国際大会事務局、慈善協会、商工会議所、社長クラブの要職を務めました。アルバート・アダムスは、国際ロータリークラブ連合会の会長になった最初の南部人であり、会長に就任して最初に死んだ人でもありました。彼の逝去は 1926 年 12 月 31 日、わずか 47 歳でした。

---

## 1920-21 年 エステス・スネデコール

オレゴン州ポートランド

エステス・スネデコールは長老派の聖職者に転向した弁護士である父親の 8 人の子供のひとりとして、1887 年にフロリダ州タンパ近郊のセーフティ港の丸太小屋で生まれました。エステスは彼の母親の旧姓でした。

彼は 10 歳のときに、山裾の崖から落ちて激しく腰を打つという悲惨な事故に会い、その怪我が原因で股関節結核になり、脚を切断しなければなりません。少年は松葉杖の助けを借りて、単に歩くだけでなく、野球やテニスやゴルフや走ったり泳いだりすることまでも学びました。また、熱心な登山家でもあり、オレゴン州の 11000 フィートもあるフッド山の頂上までも征服しました。

「ピート」という愛称で友人から呼ばれていたエステスは、アラバマ大学に通い、法学部を優秀な成績で卒業し、さらにミシガン大学の夏季講習で特別法のコースを学びました。

彼はカッパ・シグマの会員であり、1910年にオレゴンに移って、ポートランドで法律事務所を設立しました。1937年に破産管財人に任命され、一時期はその協会の会長を務めながら、1969年までその職に留まりました。

彼はポートランドの公衆衛生省長官や社会福祉協会の会長を勤め、オレゴン州児童福祉委員会の委員長、州議会議員、州知事の法律顧問や、多くの慈善、地域社会奉仕団体の熱心な会員でした。

彼は、1913年にポートランド・ロータリークラブに入会し、1918年にカンザスシティで開催されたロータリー国際大会で採用された最初のRI定款改正を含む、数多くの地区や国際ロータリーの役職を務めた後、1920年にアトランティックシティで開催されたロータリー国際大会で、ロータリーの会長に選出されました。

ピート・スネデコールは1974年5月15日に87歳で逝去しましたが、ロータリーで最も長生きした会長でした。

-----

## **1921-22年 クロフォード・マッカロー**

カナダ、オンタリオ州フォート・ウィリアム

クロフォード・マッカローは、カナダ人として2番目の国際ロータリー会長でした。オンタリオ州ガナノクで生まれて、キングストンのクイーンズ大学を卒業し、ニューヨーク、ボストン、ロンドン、パリ、フライブルク、ウィーン、ベルリンで彼の専門である眼科と耳鼻咽喉

科を研修しました。

彼はカナダの英国外科学会とアメリカ外科学会双方の会員であり、サンダーベイ医師会の会長でした。忙しい診療業務にもかかわらず、クロフォードは市民活動にも積極的で、市議員や地方の商工会議所会頭を勤めました。ロータリーで国際的に活躍する以前は、スポーツに関心を持ち、狩猟や釣りを楽しむと共に、世界中を旅行しました。

1916年に創立されたフォートウィリアム・ロータリークラブのチャーター・メンバーであり、後にその地区のガバナーを勤めました。1920-21年には、国際ロータリーの副会長を、翌年には会長を務めました。

1922年のロサンゼルス国際大会において、国際ロータリーに加盟した世界中のすべてのロータリークラブが、改訂された定款を採用することになりました。

彼の友人であり前任者でもあるエステス・スネデコールは「クロフォードは鋭いユーモアのセンスと魅力的な人柄を持った好意的な人でした。」と語っています。

クロフォードは素晴らしい土壌があつてこそ素晴らしい活動が生まれることを信じていました。そして、たとえ年老いても、少年時代の夢を忘れないようにと友人に語りました。彼はロータリー理念とその真の目的の単純明快な点が好きでした。そして、ロータリーの役割を世界中に伝えるために、何百マイルも旅をしながら、メッセージを伝えました。

クロフォードは会長職を終えた後 35 年間にもわたって、国際ロータリーの委員会に所属し、精力的なロータリーの大使として約 50 年間在籍し続けました。クロフォード・マッカーローは 1963 年 3 月 25 日に逝去しました。

---

## 1922-23 年 レイモンド・ヘイバンズ

ミズーリ州カンザスシティー

レイモンド・ヘイバンズはミズーリ州カンザスシティーで文房具を製造していましたが、職業生活と市民生活の双方で積極的に活動しました。

レイは、カンザスシティー・グラフィックアート協会の会長、カンザスシティーのスコットランド儀礼隊の元指揮官、フリーメイスンの 33 階級(最高位)、地元のフリーメイスン教会の元実力者でした。第一次世界大戦の間、彼は戦時国債と戦争遂行の特別委員として国のために尽くしました。

1914 年に入会したロータリークラブでも同様に積極的でした。1918 年に彼の故郷で開催されたロータリー年次総会の年にクラブ会長を勤めました。1920-21 年に開催された国際大会に対処するための計画や組織作りに関する彼の能力は、他のロータリアン達に深い感銘を与えました。そこで彼らは、国際ロータリーの第二副会長に彼を選び、更に 2 年後には会長に選びました。

レイが国際ロータリーの委員長を務めたのは **Business Methods** 委員会でした。その委員会の目的は、ロータリーにおける様々な職業分類に対応する、すべての事業と専門職務の正しい慣習の規範を定めることでした。

彼の親友である国際ロータリー3代目の会長ラッセル・グレーナーは、彼について次のように述べています。「レイ・ヘイバンズは陽気で誠実な性格と、強い信頼と真実の関係と楽しい友情を持った生命力と知的能力の塊で、喜んで奉仕し、成功するのが、彼の習慣でした。」

レイは、音楽が好きで、しばしばロータリーの集会ですばらしい歌声を聞かせました。彼の逝去に際して、彼の才能を賞賛したロータリアンは、**The Rotarian** に、「レイ・ヘイバンズは日常生活のいかなる場所にも音楽があるべきであることを理解していた実業家の典型的な例でした。彼が達成した最も楽しいことは、歌う能力と歌う意欲でした。」

レイ・ヘイバンズは 1934 年 12 月 2 日に逝去しました。

---

## **1923-24 年 ガイ・ガンデカー**

ペンシルバニア州フィラデルフィア

ガイ・ガンデカーは、1873 年 6 月 5 日にペンシルバニア州ランカスターで生まれ、その後フィラデルフィアに移りました。

ニューヨーク州イタケーにあるコーネル大学を卒業し、教師の道を

選びます。3年間の教師生活の後に校長になり、その後すぐに、校長会の責任者になりました。期末休暇には、イギリス諸島の徒歩旅行に行きました。その後、彼は、新聞記者の資格を取り、さらに法律を勉強して弁護士の資格を取りました。

若い頃に、ガイは優れた運動選手でした。事実、スポーツ記者の責任者であるウィリアム・リキャップは、彼について「あらゆるスポーツ競技において、ガイ・ガンデカーより勝っている人はいませんでした。」と語っています。ガイは、19歳、シカゴ万博の年に、自転車の安全を示すためにハート・サイクル社製の小さな車輪の新しいモデルの自転車に乗って、フィラデルフィアからシカゴまで行きました。

ガイの妻アンは、彼女の父親の逝去後、有名なフィラデルフィアのレストラン、クーグラーズを引き継いだので、ガイは本職とは別の職業である料理店主にならざるを得ませんでした。彼は企業経営の改善を提唱した先駆者であり、企業水準を改善する道德律を適用して、100にものぼる企業倫理基準を採用しました。

ガイは、1910年に設立されたフィラデルフィア・ロータリークラブのチャーター・メンバーであり、1914-15年の会長を務めました。1914年のヒューストン国際大会のSAA、プログラム、教育および哲学、広報、企業経営委員会の委員長を務め、1916-17年には第二副会長を務めました。1923年に、ロータリーの13代目会長に選ばれました。

彼は、ロータリーの組織管理に強い関心を持ち、クラブや地区や国際レベルの多くの基本的な組織構成を考えだしました。会長職を終え

た後も、活発な委員として務め、1927年にはベルギーのオステンドで開催された国際大会の委員として、また1927-28年には拡大委員会の委員長を務めました。

ガイ・ガンデカーは1960年8月26日、87歳で逝去しました。

2009年6月4日